

連合福島 & 県労福協 2013 新春交歓会

2013

「働くことは生きること」

～働くことを軸とする安心社会を実現しよう～



新年の挨拶をする影山道幸連合福島会長
人と人の繋がりを再生し、全ての人が居場所を見出すことのできる社会の実現に向けて、更なる前進を遂げる一年としなければならない。」更に「今年は、7月に参議院選挙が執行される。組織内候補者8名の当選と選挙区においては金子恵美参議院議員の再選に向け勝利しなければならない。新たな社会の実現に向け、積極的に行動し、働くことを軸とする安心社会の実現にむけて、全会一致で行動することを全体で確認したい。」と述べた。

また、多くの来賓の中から代表して、佐藤雄平福島県知事、民主党福島県連特別顧問玄葉光一郎衆議院議員が祝辞を述べた。



見事一等賞に当選した県民共済会の仙浪様

連合福島と県労働福祉協議会の2013年新春交歓会は、1月8日に福島市の福島グリーンパレスで開催され、県内各地から約330人が出席した。

影山道幸連合福島会長は挨拶の中で「激動の2013年が幕を開けた。今、日本の形が問われている。社会全体が改革の途上にあつて、この改革を見極める極めて重要な年になる。社会は不安定の許容範囲を超え、持続可能性さえも脅かされる事態にある。働くことは生きること、その働くと言う現場が壊れ、生活さえも壊れている事態に立ち向かわない労働運動や福祉事業はあり得ない。貧困と格差を解消し、



影山会長始め多くの来賓の方々による鏡開き

影山会長始め多くの来賓が鏡開きを行い、今泉事務局長の乾杯の発声で一年の飛躍を誓い合った後、歓談に入り親睦を深め合った。

恒例のお楽しみ福引抽選会では、空気清浄機やぼなりの宿泊券等が当たり、新年早々幸運に恵まれた方々から喜びの歓声が上がった。

最後に熊谷純一県労福協副会長の閉会挨拶をもって、大盛況の中、霊山太鼓演奏会からスタートした、2013年新春交歓会が閉会となった。